

**丸の内センタービルディング・新丸の内センタービルディングが、
東京都環境確保条例「優良特定地球温暖化対策事業所」として
「トップレベル」認定を受けました。**

「丸の内センタービルディング・新丸の内センタービルディング」は、平成23年度に、東京都より「優良特定地球温暖化対策事業所」として、「準トップレベル」の認定を受けておりますが、更なる地球温暖化対策に取り組んだ結果、平成27年度に「トップレベル」へのランクアップの認定を受けました。

中央不動産グループは、今後とも不動産事業活動における省エネルギー、地球温暖化対策に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

丸の内センタービルディング・新丸の内センタービルディングについて

当事業所は東京駅に直結した丸の内OAZOエリアに位置するオフィス系テナントビルで、1984年に竣工した「丸の内センタービルディング（本館）」及び2004年竣工の「新丸の内センタービルディング（新館）」の2棟で構成されています。

本館建設当初から中水利用・地域冷暖房利用をはじめ高効率空調・照明機器の運転制御システム採用等、積極的に省エネルギー施策を実施してまいりました。さらに、インターネットを活用したクラウドBEMSの導入により、テナント各社へのエネルギーの「見える化」も実現しました。

これらの設備導入に加え、テナントと一体となったCO₂削減推進体制の構築などの取り組みが評価されて「トップレベル」へのランクアップとなりました。

	本館	新館
所在地	千代田区丸の内1-6-1及び2	
延べ面積	64,168 m ²	45,629 m ²
規模	地上 高層棟 20階 低層棟 5階 地下 4階 塔屋 2階	地上 25階 地下 3階 塔屋 2階
竣工	1984年11月	2004年9月



新丸の内センタービル 丸の内センタービル

「優良特定地球温暖化対策事業所」について

「優良特定地球温暖化対策事業所」は、東京都が都内大規模事業所のCO₂排出量削減のための推進体制や省エネ設備の導入状況等全213項目を審査して、認定します。「同事業所」のうち、「対策の推進が極めて優れた事業所」が「トップレベル」の事業所として認定されます。